

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 令和 5年 3月 31日

事業所名：ハイ・にこ・ポン yy有野

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・個別活動や集団活動が行えるスペースを確保できている。	はい:16 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1	・継続して環境設定に努めていく。
	2 職員の適切な配置	・利用人数に応じて、適切な職員配置が出来ている。	はい:15 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	・適切な職員配置を継続し、より良い支援に努めていく。 ・契約や面談の際、職員の配置状況について周知する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・文字やイラストを用いた視覚支援を行ない、工夫している。 ・階段には手すりを設置、階段自体には滑り止めを設置している。	はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:4	・必要に応じて、整備を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日清掃、消毒を徹底している。 ・子どもの触れる物の消毒を徹底している。 ・玩具や普段使用するものは毎日整理整頓を行っている。	はい:16 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:0	・継続して行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・児童発達支援管理責任者を中心に職員間での意見交換、共有を行なっている。		・継続して行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・現在実施していない。		・未実施
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・オンラインでの研修への参加、コロナ感染者の減少に伴い外部研修への参加を増やしている。		・内部研修、外部研修ともに積極的参加する機会を設ける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者からの要望を取り入れ、また、児童発達支援管理責任者の元、職員間で意見交換をした上で個別支援計画を作成している。	はい:17 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	・面談等の時間をしっかり設け、ニーズを分析し個別支援計画の作成に努める。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どもの状況に合わせて個別活動や集団活動を提供している。 ・本人に必要と思われる支援を計画に組み込んでいる。	はい:17 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	・集団療育、個別療育ともに実施できるよう個別支援計画の作成に努めている。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・具体的な支援内容を記載できている。	はい:17 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	・継続して行っていく。
適切な支援の埒	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・職員全員が支援計画を共有し把握できている。 ・支援を行った際は具体的に記録を行っている。	はい:15 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:0	・個々の計画に即しているのか等を、定期的に職員間で話し合い、より良い適切な支援に繋がられるように努める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・職員全員で話し合い、活動の立案を行っている。 ・園外活動、クッキング等、職員が役割を分担し、企画、実施が出来ている。		・今後も状況や話し合いの場で出た意見を踏まえプログラムを立案し、きめ細やかな支援を行うよう努めていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・集団療育を中心に、個別療育、SST、制作活動、公園遊びを中心に支援を行っている。		・継続して行っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・月行事や季節行事を取り入れ、工夫している。	はい:14 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1	・今後も状況に応じて、プログラムに工夫を加え実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・その日の支援内容を共有、役割分担について確認を徹底している。	・継続して行っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了後、職員同士で振り返り、その後全職員で情報共有を行っている。	・継続して行っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・支援終了後、記録入力を行い、支援の検証、改善に役立っている。	・継続して行っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年に1回モニタリング、計画の見直しを行っている。見直し後、保護者に説明、同意をいただいている。	・継続して行っていく。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・基本的には児童発達支援管理責任者、状況により保育士等が参加し、全職員に内容を周知している。	・継続して行っていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし。	・該当者なし。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし。	・該当者なし。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・各関係機関と情報共有を行なっている。		・継続して十分な情報共有に努める。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・各関係機関と情報提供を行っている。		・継続して十分な情報共有に努める。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・各専門機関との連携は常に行なっている。必要に応じ、研修への受講も行っている。		継続して行っていく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現段階で保育所や幼稚園、児童館との交流は殆どない。連携を図ることは出来ているため、今後機会を作っていきたい。	はい:7 どちらともいえない:2 いいえ:3 わからない:6	・交流の機会を増やしていけるよう、当事業所からも働きかけていけるよう努めていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・事業所周辺や公園で出会った地域住民の方と積極的にコミュニケーションを図っている。		・コロナ禍の状況が落ち着けば、積極的に地域交流を行っていききたい。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・支援の内容は見学時、契約時、支援計画作成時に説明を行なっている。また、契約時には再度利用者負担等についてしっかりと説明を行っている。	はい:18 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	・継続して行っていききたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・丁寧な説明を心掛けている。	はい:18 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	・今後も丁寧な説明を心掛けていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・十分に行えていないのが現状である。	はい:7 どちらともいえない:4 いいえ:2 わからない:5	・職員自身も研修に参加する事でスキルアップを図っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎時に日々の様子、療育内容を直接保護者に伝え、自宅での様子も聞き取りをながら情報共有を行なっている。また、連絡帳等も活用している。	はい:16 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:0 ・活動内容や子どもの様子を詳しく教えてもらっている。	・今後もこまめに保護者と連絡を取る中で、共通理解の徹底に努めていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者からの相談には随時対応している。定期的に面談を行っている。	はい:10 どちらともいえない:3 いいえ:2 わからない:3 ・困ったことがあってもすぐに対応していただけて助かった。	・日頃から相談や助言を気軽に行える関係性作りに努めていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現在十分には行なえていない。	はい:5 どちらともいえない:3 いいえ:6 わからない:4	・コロナ禍も落ち着いてきていることから、父母の会の活動支援や保護者会等行っていきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制を整えている。苦情があった場合は迅速かつ速やかに対応している。	はい:12 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:5	・継続し、迅速に対応していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・個々に合わせた対応を行なっている。 ・連絡やお知らせがあれば、その都度お話、連絡ノート等使用し情報伝達、共有を行っている。	はい:16 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:0	・送迎や面談等、出来る限り顔を合わせて話す機会を増やしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のお便りを発行しており、行事等もそれでお伝えしている。 ・SNSを利用し、活動内容や様子を掲載している。 	はい:15 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:0 ・月ごとにおたよりをいただき、イベントなど分かりやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書以外に個人情報の取り扱いについての同意書を作成し、同意を頂いている。 ・取り扱いには十分注意している。 	はい:17 どちらともいえない:0 いいえ:1 わからない:0	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して管理、徹底を行っていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを作成し、職員間での周知徹底を図っている。 ・契約時に保護者への周知を行っているが、変更等の通知は不十分である。 	はい:12 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:4 ・感染症マニュアルはプリントを配布され読んだことがあるが、防犯マニュアル等は分からない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ対しての周知に努めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を行なっている。 	はい:9 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:6 ・コロナお休みになった時の対応も良かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して保護者への周知徹底を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象に、年1回以上実施している。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して行っていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし。最善の注意を払い支援にあたるよう努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者からの聞き取りにて把握し、全職員周知している。		・継続して行っていく。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット報告書作成している。作成後は職員で共有し、再発防止に努めている。		・定期的にヒヤリハット事例について、職員間で話し合いの機会を設けていく。